

# 《フジクリーン浄化槽 海を渡る》

# 水 泥 新 聞



第 6 号

発 行 F C 水 泥 編 集 室  
電 話 (052) 733-0325

## 優れた製品と共に 水質浄化の技術を移転

国が異なれば文化も異なる。欧米から日本を訪れた人はお尻を水で洗う洗浄トイレに驚くそうだが、わずかな容積の浄化槽を庭に設置して、排水をその場で浄化する技術にも驚く。新興国だけでなく、アメリカなどの先進国からも、浄化槽への評価が高まっている。

### 先進の技術で 水環境の改善を目指す

地球規模の気候変動によって、資源としての水の確保が深刻な問題になるといわれている。今年2月に韓国で行われた世界水フォーラムは、気候変動等の影響によって世界各地で安全な衛生施設を継続的に利用できず、人の割合が減少すると警告した。持続可能な水の衛生管理には、今、何が必要なの

かが問われている。

日本国内では人口減少や施設の老朽化など、インフラ維持に悩む地方が続出しており、全国規模でその在り方に直視が始まっている。特に効率性、持続性、経済性に優れた浄化槽の価値が改めて見直されている。

さらに世界からも日本の浄化槽技術に関心が高まり、それぞれの地域に対応した水処理施設の導入が期待されている。

### 新興国の人材育成で 海外展開促進

世界には生活排水処理で悩まされている国や地域が多い。人口密集地域で下水管の敷設工事は簡単に行えない上、何よりも整備に莫大な費用がかかる。そこで日本の浄化槽にインドやベトナム、フィリピンなどから熱い視線が注がれている。

国は、研修・専門家派遣事業等による新興国の人材育成に取り組んでいる。相手国政府のキーパーソンに日本の技術等の優位さを理解してもらい、日本企業が案件獲得を有利に進めることが狙いだ。フジクリーンは平成24年度インフラビジネス等展開支援人材育成事業に応募し、中部経済産業局管内から



プロワの構造を説明している様子

事業提案を行った。

フジクリーンでは、かねてより(財)海外産業人財育成協会と協力し、新興国からの浄化槽施工部門、維持管理部門などの技術者を受け入れる研修制度を設けている。

平成24年(2012年)7月にはフィリピンをはじめとしたアジアの国々から、生活排水処理の担当者からフジクリーンの飯塚工場を訪れ、浄化槽の仕組みや製造過程の説明、浄化槽を導入する際の問題点の意見交換などを行った。

また、同年9月から10月までは、同財団が招聘、実施したインド共和国デリー準州の水環境改善に取り組み関係者への研修事業にも協力した。



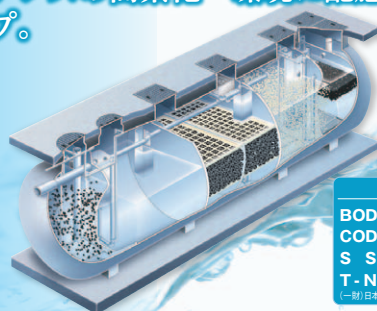
研修に参加したインドの関係者

施工性の向上・メンテナンスの簡素化・環境に配慮した処理性能。  
三位一体でパワーアップ。

フジクリーンプラント  
**PCN型**

嫌気ろ床担体流動循環ろ過方式

51人~180人槽 計画汚水量：  
2.55~36m<sup>3</sup>/日



放流水質

BOD 15mg/L以下  
COD 25mg/L以下  
S S 10mg/L以下  
T-N 20mg/L以下  
(一財)日本建築センターによる性能評価値

- レイアウトフリー設計
- 配管・動力機器を減らしたシンプル設備
- 清掃頻度は6か月に1回以上  
点検頻度は3か月に1回以上

産業廃水処理ユニット、浄化槽用プロワを取り揃えています。  
お近くの弊社製品販売店及び営業所までお問い合わせください。



フジクリーン工業株式会社

本 社 / 名古屋市千種区今池四丁目1番4号 〒464-8613 ☎(052) 733-0325  
支 店 / 札幌・東北・東京・名古屋・大阪・福岡 営業所 / 全国25ヶ所  
<http://www.fujiclean.co.jp/>

### ベトナムの幼稚園 で蘇る水

経済産業省では、平成26年(2014年)度から、官民一体となって、新興国へ日本の優れた環境装置を普及させ、環境分野での海外市場の獲得を目指した新興国市場開拓事業を展開している。

フジクリーンはその第1号として事業採択され、ベトナムにおいて、園児数450人のハノイ市立イエンサー幼稚園に日本の浄化槽を設置し、効果を実証することになった。



ベトナムの施工現場



浄化槽設置記念の見学会

人口約700万人のハノイ市はトイレの水

洗化が進んでいるが、下水道が整備されているのは市の中心部などごく一部だけだ。

今回の事業が従来と大きく異なる点は、施工技術、維持管理技術で、地の人たちが習得でき、自ら浄化槽の機能保全を行えるよう技術移転に重きを置いたことにある。

地元テレビ局をはじめ、多くの人々が見守る中、わずか10m足らずの管体によって処理された透明感溢れる処理水に驚きの声が上がった。

経済産業省は、平成27年3月「産業の国際競争力の向上」や「地域経済の活性化」を牽引したとして、全国300社の中小企業等を表彰、フジクリーン工業(株)の渡辺嘉一社長が受賞者を代表して挨拶を述べた。

### オーストラリアに 現地法人

一方、オーストラリア

や北アメリカといった先進国でも、地方へ行く、生活排水処理が地下水汚染などの問題と

なっている。オーストラリアは国土面積が広大で、下水道を整備するには財政的負担が大きい。そこで下水道が未整備の地域ではセプティックタンクが使用されている。ただ、新興国とは異なる生活排水はそれぞれの敷地内で処理しなければならぬ。そうした中で浄化槽が注目されるようになってきた。

平成18年(2006年)、オーストラリアのメルボルンで行われた環境技術展へフジクリーンが初めて出展し、大きな反響を呼ぶ。フジクリーンは平成20年(2008年)にオーストラリアのクインズランド州ケアンズ市に現地法人としてFCAを設立した。



オーストラリア仕様のCE1500EX

### 先進国アメリカでも 高い評価

アメリカも生活排水処理に関しては、基本的にオーストラリアと同様セプティックタンクで処理し、自分の敷地から外へ出してはいけない。処理水は敷地内で地下へ浸透させていたが、地下水の汚染の心配も出てきた。汚泥は数年に1回程度の割合でバキュームカーが引き抜く。

フジクリーンは、平成25年(2013年)7月にはオーストラリアに続き、現地法人としてFCUSAを設立した。

アメリカでは全米規模の浄化槽関連の展示会として2月にWWETT、11月頃にWEEFTECが行われる。



WWETTのフジクリーンのブース

今年2月に開かれたWWETTでは、フジクリーンが日本の浄化槽メーカーとして初めて出展した。展示会には600社以上が参加した。会期は3日間、来場者は約2万人にもなった。

実物の浄化槽と共に、槽内の構造が透けて見える透明なミニチュアモデルを展示したところ、多くの人だかりが出来、大好評であった。「WWETTはフジ

クリーンUSAが米国市場で本格的に活動を開始したことを示す重要な機会であり、会社への評価も高く製品も非常に好評でした」と現地スタッフは語る。

「日本には世界に誇れる水処理技術があります。その一つが浄化槽です。ジョーカソーは今やカラオケやマンガと同じように日本語のまま英語で使われています。日本で誕生し、進化した浄化槽が世界に広がれば、きっと水環境の改善に繋がります。そのためには、装置を販売するだけでなく、維持管理の仕組み作りにも貢献していきたい」と浄化槽普及への夢も語っている。

### 用語解説

・セプティックタンク  
水洗された排水をタンクに貯め、自然の状態

で嫌気処理する。